

第18回多機能ホーム二之宮運営推進会議議事録

(グループホームこもれび))

日時：平成30年5月10日(木)14時～

場所：多機能ホーム二之宮 1階 相談室

1 事業所あいさつ

施設ホーム長 片松清司より挨拶

私達の施設は、地域の方に支えられ丸3年が経ちました。今後ともご意見を頂きながらやっていきたいと思っています。

2 出席者紹介

本日は、新しい方に出席してもらっています。

出席者

鈴木秀雄様(二之宮浅間通り自治会長) 浅井和久様(民生委員) 山下順子様(民生委員)

鳥居麻里子様(磐田市介護保険室) 牧野様(グループホームご家族様)

片松清司(施設ホーム長) 神尾厚子(グループホーム管理者)

3、事業所よりの状況、活動報告

グループホーム

現在18人名入所され満床です。待機の方も6名おります。本日も問い合わせがありました。

前回出席されたご家族からでた意見「ある職員からこれを持ってきてほしいと言われ持っていくと、他の職員からいらないと言われた。統一してほしい」に対して、職員と話し合いをしました。今後は、一覧表を作り、持ってきてほしい物を書きだし、誰がいつ見てもわかるようにしました。家族に依頼したら依頼済と書き、持ってきてもらったらすすようにしました。ご家族にも説明し、了解していただきました。

4月からの介護保険法の改正により、今回から身体拘束等の適正化の為の対策を検討する委員会を3月に1回以上開催すること。グループホームでは、運営推進会議を活用することができるという事ですので、毎回運営推進会議で身体拘束委員会を開催したいと思います。

身体拘束禁止の対象となる具体的行為について11項目あります。資料をみてください。グループホームでは、現在身体拘束をしている方は一人もおりません。身体拘束の勉強会も行っています。昨年もしましたが、2日前も身体拘束の勉強会をしました。

「～してはダメ」スピーチロックは拘束に中に入ることも勉強しました。

次に29年度の施設内での研修の報告をします。資料をご覧ください。ほぼ、毎月施設内で勉強会を行いスキルアップを図っています。昨年の11月、12月は、介護労働安定センターの先生により又、1月、2月は、静岡県介護福祉会の先生により研修をしています。

これ以外に、個人的に認知症介護実践研修、介護福祉士の介護職員実践者研修、介護支援専門などにトライしています。

4、参加者からの意見

牧野様 昨年12月末からお世話になりました。飲み込みが悪く熱が出る事がありますが、川口先生に対応してもらい安心しています。家にいたらどうしたらよいかわからない。

施設から 川口先生は、ほぼ毎日こちらに来て往診をしています。臨時にも診て頂き対応してもらっています。ご家族にも施設に入れたから終わりではなく、入居してから面会に来てくれている。この施設は面会率が高いです。

鈴木様 今年から出席します、二之宮自治会長の鈴木です。この施設は何人入っていますか？

施設から グループホームは18名です。サービス付き高齢者住宅が29床33名です。
鳥居様 市役所から今日始めてきました鳥居です。施設の中を初めて見せてもらいました。広く、きれいで、こんにちとは職員にあいさつをすると職員の方もあいさつをしてくれ嬉しかったです。

施設は、地域に根付いている施設からなかなか地域に密着していない施設というところあります。

身体拘束はやっていないということですね。スピーチロックについても勉強していますね。

浅井様 竜洋しおさいに気を付けて、楽しく行ってきてください。今、はしかが流行っています。気をつけてください。

施設から インフルエンザはサ高住で3名か罹りました。今年には面会制限をかけました。インフルエンザ、陰性が出た方も予防的にインフルエンザの薬を飲みました。毎日、バイタルチェックをしています。

山下様 いつも楽しそうな写真がありますね。

4、その他

毎回、皆さんの誠実な意見有難うございます。

施設では、外出して気分転換をしています。外出する時は、事前に打ち合わせをしています。地域の方も社会貢献を考えてくれ、外出に協力してくれています。

次回第19回運営推進会議は平成30年7月12日14時からとなります。